

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	リーディング1（ギター）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ギター）	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	楽譜、教材を講師が作成し配布し教材とする				
担当教員情報					
担当教員	鳥居隼/渡邊具義		実務経験の有無・職種	有・プロミュージシャン	
学習目的					
スコアリーディング向上、アンサンブル向上、各パート楽曲に合わせアンサンブルを実践しながらスキルを向上する授業。奏でているフレーズのリズム、音符の長さ、表現方法など意識できるようにする。他の楽器と合わせる時には、全員がリードスコアを読み、小節の進行、リピートマークなどの臨時記号に対応できる現場能力を育成する。各パートと合わせるにより、自分以外の楽器への理解も深まることを目的としている。					
到達目標					
3週間に1回、全コースとアンサブルの授業を行う。同じ楽曲であるが、さまざまなプレイヤーと合わせる事で、現場への対応力を養う。同一譜面を読んでも、プレイヤーによって奏でるフレーズは十人十色であることを知る。その中で自分の個性を発揮できる経験と知識、スキルを得ることを目標とする。この授業はプレイヤーコース内のコミュニケーションを図る上でも重要な授業であり、コミュニケーションがスムーズなセッションほどクオリティーがあがることも経験として知る授業となっている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、3週の間に2曲を演奏できるようなカリキュラムになっている。各パート1週目男子曲、2週目女子曲（入れ替わり可能性有り）、3週目全体アンサブル授業となります。1～2週目のパート別授業で、譜面読みを終了させ、一音一音、丁寧にプレイすることを主眼としている。全体アンサブル時には、譜面を読みながら自分のサウンドを出すことを目標としている。				
注意点	この授業では、全ての授業を出席しなければ、3週目のアンサンブル時に、合わせることができない。授業時間以外にも、仕込み等は自分で仕込んでくるものとする。全体合わせの過程、自らの仕込みの過程と過程を重視する授業であり、欠席が続くと演奏ができない。欠席の多い学生は全体あわせに参加させない可能性もある。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	発表会形式でのテスト		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	課題曲①リーディング		各パートごと課題曲のリーディング		
2回	課題曲①楽器陣合わせ		楽器陣のみで曲の全体合わせ		
3回	課題曲①全体合わせ		Vo.と共に全体合わせ		
4回	課題曲①全体合わせ		男子、女子各1曲ずつ合わせ		
5回	課題曲②リーディング		楽譜通りに演奏、足らないスキルの向上		
6回	課題曲②楽器陣合わせ		楽譜でのリーディング能力的認		
7回	課題曲③リーディング		メトロノームを使ったり、よりプロの実践的アンサンブルを加える		
8回	課題曲③楽器陣合わせ		機材の扱い方や、音作り等の解説		
9回	課題曲②全体合わせ		男子、女子各1曲ずつ合わせ		
10回	課題曲③全体合わせ		男子、女子各1曲ずつ合わせ		
11回	課題曲④、⑤リーディング		楽譜通りに演奏、足らないスキルの向上		
12回	課題曲④、⑤楽器陣合わせ		楽譜でのリーディング能力的認		
13回	課題曲④、⑤全体合わせ		男子、女子各1曲ずつ合わせ		
14回	前期試験発表会		課題曲の総復習 ステージパフォーマンス、リハーサルの実施		
15回	前期試験発表会		課題曲の総復習 ステージパフォーマンス発表		